

# 質疑に「私の知るところではない」と無責任答弁 それでも政和クラブ・公明党・無会派が「決議」を可決

各務原市議会の最終日9月28日「波多野こうめ議員に適切な対応を求める決議」が提出され、政和クラブ・市議会公明党・無会派の賛成で可決されました。議長は再度、ハタノ議員に「謝罪と発言取り消し」の意思を確認しました。ハタノ議員は、その意思がないことを伝えました。議長は「市民（要求者を提出された地主）の方に沿えないこととなり、議長としてお詫びします。」と発言しました。

この「決議」の提案者は川嶋一生議員。杉山元則議員が質疑し、「私の知るところではありません」と繰り返す動画が、各務原市議会のホームページからご覧いただけます。

傍聴をされておられた方から「傍聴記」が寄せられましたので紹介します。

## 不当性を暴いたハタノ議員の質問

9月議会の最終日（28日）突然、「波多野こうめ議員に適切な対応を求める決議」なるものが議員提案として出された。その顛末は……。

## ハタノ議員に向けた「決議」の 発端となった各務山問題とは

ハタノ議員は13日の本会議で取り上げた「各務山土地造成事業」とは、各務山を中心とする1000ヘクタールを6工区に分けて工場団地を作る計画である。しかし、9月議会で1工区以外の2〜6工区の事業の実現化はかなり難しいか、殆ど実現不可能であることが明らかにになった。つまり、1工区だけ実現させるといふものである。

## 核心を突いた ハタノ議員の 質問

13日のハタノ議員の一般質問で、上記の点を明らかにしつつ、今回、事業を進める1工区は文教地区であり、そこに工業団地はとんでもないと



採土により山肌が出ている各務山

主張、更に1工区には8000坪の地主が見えるが「この事業は、特定の地主を利用するための事業ではないか」という市民の声を紹介しながら「市民の声（因みに私もその一人ですが・・・）にどう答えますか」と迫った。

## 大風呂敷を広げ不当な部分を 小さくみせる手法

ハタノ議員の質問から、この事業は「工場団地造成」に名を借りた民間土地の買い上げが目的という構図が見えてくる。実現不可能な所を含め大風呂敷を広げたような計画の中の1工区だけを見ると、この部分は小さく見える。そこにもよからぬ作為を憶える。

## 「決議」提案議員の答弁不能は 「決議」の正当性を失うもの

ともかく、ハタノ質問は市長にとって痛い質問であった。それを証明したのが冒頭の「決議」である。この「決議」は地主からの「要求書」に基づくもので13日のハタノ議員質問の「撤回と謝罪を求める」ものであった。しかし、議会で、この「決議」の提出者・川嶋一生議員は「提案の具体的根拠を示して下さい」との質問に「私の知るところではありません」一点張りの無責任答弁を繰り返し答弁不能に陥った。この時点でこの「決議」の正当性はなくなった。

この後のハタノ議員の弁明で自分の質問の正当性を、法的根拠を示しながら理論整然と述べた内容は「決議」がいかに的外れなものであるかを明らかにした。

## 「決議」の提出は 政和クラブのオウンゴール

この最終日のやり取りを冷静に見れば、政和クラブのオウンゴールでもあった。この問題は本会議（12日〜13日）で終わった議論で、それを蒸し返す格好となった上、その不当性がより明らかにされたからだ。

おしまいに、1工区の8000坪の地主さんはある市議（政和クラブ）の後援会長さんで、市長さんとも昵懇（じっこん）な仲と聞く、何やら「モリ・カケ問題」に似ているなア〜。（三）



水脈読者版 第190号

2018年10月11日発行／日本共産党各務原市議ハタノこうめ、ながやてる子  
各務原市川島小網町2144-55 TEL 0586-89-3924 携帯090-9947-4988

読者版

水脈